京都教区時報

第124号
田中司教認可
毎月1日発行

発行　京都司教区　　発行責任者　村上透磨
編集 京都カトリック教理センター　住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入　Tel 761-9095

全国大会（ナイス）にむけて各地の報告

開かれた教会に

京都教区司祭　ライムンド　田中健一

標題「開かれた教会に」は俗称「ナイス京都会議」11月20～23日の主題であります。各グループ、小教区、地区で、又教区レベルで、現代社会における神の民、日本教会の見直しを16教区が揃って懸命に模索して下さっていることは本当に有難く、うれしいことであります。

不肖私が京都司教に任命されて10年が過ぎました。みなさまのご理解・ご支援・ご協力に、主において心より感謝申し上げます。

就任間もなく私は「内部対話を先ず願って」と教区時報の復刊をみなさまと共に開始しました。最初は隔月号、'85年からは毎月号になり丁度10年になります。時報関係者の涙ぐましい努力で「京都の時報はユニークで面白い」と教区外からの声。特に今日まで、休むことなく発刊し続けて下さったことについて心から御礼を申し上げたいと思います。

分厚くなった10年間の時報を走り読みしますと時代の変化を強く感じ、又編集者がどのようにすれば一人でも多くの人が読んで下さるだろうかとの苦労の跡もよくわかります。けれどもその間、編集の表現や言葉のアクセントのちがいによって、誤解や不満をお与えしたかも知れません。

島国育ちの私達には、他者に関心をもつことが不得手かも知れません。でも現代の情勢では他者（信条、伝統、歴史、言語等の異なる人）にも関心をもち、神の国のメッセージに沿って可能な限り、痛みを感じて関わって行く使命を頂いているのが教会だと思います。

マリアの年を迎えた本年、毎日の祈りと生活の見直しの中で、部分教会（教区民）を先ず相互の交流を深め、外へ開かれるため、聖母のお取り次ぎを求め、多様性の一致に教区時報を一層役立てて頂きたく思います。

第1回全国会議（ナイス）京都代表者会報告

'87年5月10日

1　勉強会

「解放の神学」ロペス師担当

2　中央協議会・全国会議実行委員会事務局会議報告

福音宣教の新しいあり方の主旨9要点中、常にその根元にある「信仰と生活の遊離」を検討。実行委員と代表者会との関り、位置づけ等を越知・村上師より聞く。

3　各ブロックからの報告

三重

5月17日　三重県婦人大会ルーニィ師を招き「生活を通して育てられる信仰」について講演。（詳しくはP5を）

奈良

7月19日　奈良司牧評議会全国会議にむけ小教区の取り組みの進展度を話し合う予定。

滋賀

5月4日　滋賀県信徒の集い生活体験「私の生き方」を広岡洋子氏が講演。（詳しくはP5を）

京都北部

6月14日　信徒大会で「ミニナイス」を計画中、北信連としても準備会をもち、また各小教区でもできる範囲で信徒大会にそなえ取り組み中。

京都南部

4月26日　南信協評議員会で各小教区への浸透を促した。共同司牧に向けての動きの中で全国会議の説明をしている。

修女連

南部修道会定例会で話し合いをもちたい。

南部司祭の集り

月例会で9要点を分担して研究、現在6要点まで発表。

諸活動（正平協・クリスチャン・ライフ青年委員会・SVP・レジオ・マリエ・召命促進委員会・教会学校教師会・カトリック学校連盟・ボーイスカウト・ACJ・CNAJOC・学連ナス）実行委

配布ビラの利用について3本の柱がどれだけ小教区の1人1人に理解され納得されているか疑問。個々の意見が取り上げられにくい。

未信者の団体ではほとんど討議しにくい。

身体的ハンディにより集会は月1回程度。多くの人の共通した意見は「教会は良いことを言うが我々に何をしてくれるか」ということ。開かれた教会の形は見えるが心が見えない。あわれみの対象でなく、身障者に宣教活動はどう位置づけられるか。

障害者などの本音がまとめの段階で消されてしまうのではないか。

時間をかけ討議し、本音を出した後、まとめるべきである。

★今後は各グループの意見をまとめ、レポートを7月15日までに提出する。

全国修道会管区長会議より

貧しき者との連帯・修道会の中の貧しさ弱さについてルーニィ師より分ち合いがあった。

4　その他の議事

◎レポート、意見の提出の仕方について▼できるだけ生の意見を出して下さい。

◎柱ごとのパンフレットの発行について▼柱1「日本の社会とともに歩む教会」を発行。

司教の足どり

4月

1日　草津幼稚園来訪
2日　教区内司祭の集い、森司教講演。聖香油祝別ミサ
3日　西宮甲山墓参。大阪教会管区会議
4日　同右続き
5日(日)河原町ミサ
6日　聖母の家更生施設第二工事祝別竣工式。ミロハナ師及び(学)理事と要談。(四日市)
7日　母を見舞う(聖マルチン病院)
8日　比叡山につき仏教・新教関係者と面談。MM管区長らと面談
9日　司祭評常任委
10日　来訪者多数。丸山師見舞（富田病院）。Bp古屋訪問
12日(日)枝の主日
13日　O師（上智大）と面談
14日　(学)カトリ京都理事会
15日　邦人司祭緊急会議。神藤MDと面談、丸山師見舞（博愛会）
16日　聖木曜、最後の晩さんミサ
17日　聖金曜、Bp古屋来訪。儀式
18日　聖土曜、復活徹夜祭
19日(日)復活祭荘厳ミサ。フィリピンの仲間とのミサ
20日　聖母の家、(社)(学)関係者と面談
21日～5日8日　ローマ向け出国。タイ・ウボン教区にヌベール会シスターズを訪問。諸宗教総会（一週間ローマ市郊外）。教皇接見

5月

8日　無事帰国

1987年 京都教区「平和への歩み」の集い

テーマ　人権を尊び平和を築こう

主催	日時	場所	テーマ	講師	責任者
滋賀県ブロック 平和への歩み実行委員会 共催「平和への歩み」実行委員会	11月3日 9:30～13:50	大津教会	びわこウォーカソン		鈴木庸男 0775(24)4993
三重県ブロック 平和への歩み実行委員会	8月9日(日) 10:00～14:00	津教会	外国人登録法問題	エドワード・ ブショストフスキ	藤井　実 05952(5)7101
奈良県ブロック 平和への歩み実行委員会	7月5日(日) 14:00～16:00	奈良教会	「キリスト者として平和のために 今、何ができるか」	相馬信夫 司教	西原清隆 0742(47)1298
	8月9日(日) 13:00～17:00		平和啓発映画会・写真展 ヒロシマ・ナガサキ～核戦争のもたらすもの～		
京都南部ブロック 平和への歩み実行委員会	7月26日(日) 12:00～17:00	河原町教会 地下ホール	原爆絵画展 (共催京都YWCA)		井筒源太郎 075(671)6243 0
	7月26日(日) 14:00～16:00	カトリック会館 6階ホール	講演 「もうひとつのヒロシマ」	朴　壽南 (パク　スナム)	
	8月9日(日) 14:00～	河原町教会 聖堂	平和を祈るみことばの祭儀 テーマ 「平和に背を向ける原発事業」 平和行進　17:00～	発題者 小木曽美和子	
京都北部ブロック 北部信徒連合会	1．北部各小教区で平和についての本やビデオを選び読書会、勉強会を行う 2．北部12小教区が1つずつ平和共同祈願を作成し、全小教区で祈る 3．中学生広島巡礼に積極的に参加するようすすめる				

「みんなでつくる開かれた教会」をめざす時、平和や人権問題を無視して通ることはできません。弱い立場におかれている人々が抑圧され、自然が破壊され、そして戦争への道を歩もうとしていると思われます。もはやそこには正義と愛は失なわれています。

「平和への歩み」実行委員会では本年度の取り組みについて協議し反省と意見交換の結果、例年行事が京都南部に片寄っていることから、今年は各地区ごとに行事を計画推進し教区全域で展開することを基本とし次のようになりました。

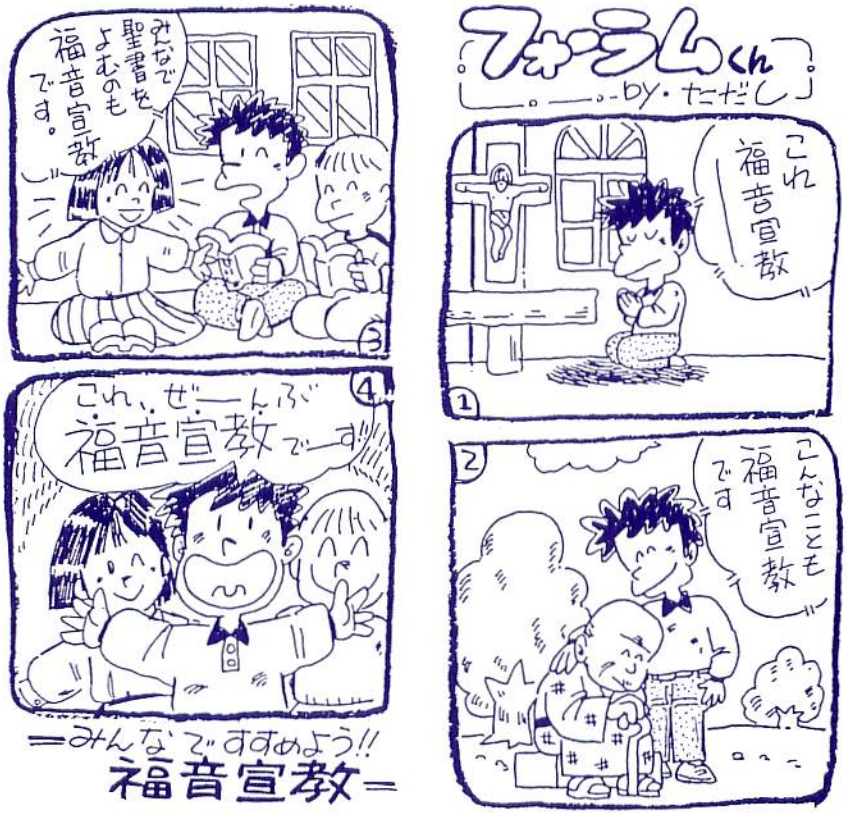
1、テーマ「人権を尊び平和を築こう」
2、平和祈願ミサ（8月9日）は統一典礼文で行なう
3、各ブロックに「平和への歩み」実行委員会を設置する（信徒協・修女連・諸活動・司祭評を含む）
4、各ブロックごとに独自の行事を計画し実行を推進する
5、広報（教区時報・ポスター）にて各ブロックの行事情報を提供し参加をすすめる

企画
「平和への歩み」実行委員会
（司祭評・修道女連盟・信徒協議会・諸活動）

「みんなでつくる開かれた教会」にむけて各地では・・・・

京都北部

丹後青年の取り組み
自分のものとして具体的に考えていこう



「丹後フォーラム」は50周年やナイスなどを自分たちのものとして、みんなのものとして具体的に考えていこうという交わり（広場）です。

この交わりの場で内容は充分とはいえませんが私たちが考えていることを上記のようなマンガにしてみました。そのほか、

◎福音宣教は神様の呼びかけであり、また私たちの生活の姿を反映するものです。
◎壮年たちはもっと青年に責任を分け与えて下さい。
◎青年たちはいろいろな問題をもっと学び、甘えないで主体的に参加しよう。
◎建設的な批判、問題提起を大切にしよう。
◎教区全体の事柄について、意見や疑問がすぐ伝わるようにして欲しい。（例えば、司教とのホットラインをつくる）

など、いろいろなことを話し合っています。

滋賀

信徒の集い
福音宣教全国会議にむけて
'87年5月4日

開かれた教会とは、どういう教会になることでしょうか。そのために私は何をしたらよいのでしょうか。また、開かれた教会づくりを困難にしているものに、どんなことがあるのでしょうか。みんなで考え、話し合って意見を出し合う。私達ナイスの代表者は、その意見をもとに全国会議で発言します。全国会議で話し合うことの重要性もさることながら、一方で、このような個々のグループで話し合うことこそが、開かれた教会づくりであり、福音宣教につながるものだと強く感じました。

当日は連休のさ中でしたが、信徒と聖職者が47名、会場の草津教会に参加しました。開会が10時。最初の一時間、広岡洋子先生（マリアンホーム代表）による「私の生き方」と題しての講演会。そのあと4グループに分かれての分科会場へ。昼食を共に、交流会。つづいて3時間の熱心な話し合い。午後3時半から再び全体会議での報告会。4時終了、とあわただしいスケジュールでした。

さて、本題の内容についてはまだ、正式の記録が届いていませんが、報告会のメモから紹介します。

〈日本の社会と共に歩む教会〉

キリストに価値を見る私達は、自分（教会）を開くことから始めなければならない。

社会からみたキリスト者観とに差異があり、重荷になる。

社会と共に歩む以上、（その切実である）社会問題（靖国、押捺、天皇論など）にも背を向けず、ハッキリとした態度（対話も）を表明しなければならない。

冠婚葬祭の時、教会の良さを知ってもらう、よい機会だ。

教会の中では（社会と同様に）意見の集約は難しいが、対話は続けなければならない。

〈福音宣教をする教会〉

教会が地域など、社会からどれだけ必要とされているか。実践している例として老人グループ、ボーイ・ガールスカウトによる教会の利用、未信者がミサに自由に参加できるような配慮など。

小教区の壁を越えるために、年代層別に地域を越えた集りを。

〈生活を通して育てる信仰〉

職場でキリスト者として優しい態度で人に接すると、弱気だと誤解され易いが、立場は表明する。

家族計画は深刻な問題である。子供が増え続け、神様に文句を言った。

自分の信仰を他人に押しつけているが、その自分を反省したい。

子供向けのミサ（聖歌、説教）などを工夫したらよい。

ミサの時、未信者に祝福を…。

教会から離れている信者への対応。

靖国、押捺問題など、カトリック全体で反対していると思われて

三重

婦人大会
生活の中で信仰を生きるために
'87年5月17日

県下9教会から約120名の婦人が午前9時のミサに参加し、引続き三重県信徒協議会会長が福音宣教推進全国会議（ナイス）が開かれるに至った経過と課題の説明、つづいて大和郡山教会のルーニー神父の『生活を通して育てられる信仰』と題する講話があり、全国会議に参加する京都教区の代表、ルーニー神父（司祭）シスター鈴木（鈴鹿教会）、仲川久代（大和八木教会・婦人信徒）下平美砂（津教会・青年信徒）のみなさんの紹介と簡単な挨拶があり、続いて行けない信者も沢山いる。

いるが、本当にそうなのか。つい

神父は、どんな所へも、胸を開いて飛び込んで行って欲しい。

愛の共同体として、小集団の信者が、ハダカの付き合いを…。

ジャパゆきさんで、日本の教会は神経質になり過ぎでは…。

共同体は型にはめたものではなく、個性を持ったものに…。

大人は青年を信頼し、自主性をもっと尊重すべきだ。

（以上報告会より）

話し合いを通して、私達はこう在りたい、という姿と、今、本当の姿はこうですよ、という両面を知ることができました。今後の話し合いを期待します。

文責　岩崎章太郎

て予定されていた8つのグループに別れて『職場・家庭で信仰を生きるには』・『青少年が信仰を生きるには』のテーマでわかちあいがおこなわれました。

昼食を挟んで2時間余りのわかちあいの結果が各分科会の司会者から全体会議に報告され、システー鈴木の総合司会によってまとめられました。

まとめの中から、主なものを拾って見ますと、

1、みんなで体験をわかちあった結果、信者、未信者を問わず、聖霊が確実に私達の中に働いておられることがわかった。

2、福音宣教という言葉に緊張していたが、自分が受けた福音宣教の体験を思い出し、職場や家庭の中に自分の信仰をさりげなく伝えるチャンスがあることがわかり、気が軽くなった。

3、みんな一人一人が神から目をかけられて社会の一員になっている、職場や地域で自分の良いところ悪いところを隠さずコツコツと自分の出来ることからはじめよう。

キリストの愛の行いにめざめて、微笑み、挨拶、会話、お見舞、励まし、お手伝い（言葉、行い、奉仕）も福音宣教です。

4、開かれた教会（信者の集り）は、宗教を超えて平和のうちに他宗教の人とも手をつなぐ（共存する）ことができる。

混宗家庭では仏壇には敬意を表し、地域では氏神さまを無視してはいけない。

5、教会学校で教えていると、ときどき子供から教えられることがある。福音宣教は、一方的に教えたり伝えたりするものではなく、互いに教えあい、伝えあうことだとおもう。

6、自分の置かれた立場で証をするエネルギーの源はミサ・祈り。喜びをもって参加できるように、役割をこまかく分担し、特に若者と年寄りとの交流を典礼を通じてできるようにしたい。

また、社会の多様化にともない、教会に行くことができない人のために、ミサの回数や、信徒とのふれあいの場を増やして欲しい。など、沢山の貴重な体験がわかちあわれ、そのなかから基本的な姿勢と、具体的な生活（信仰）様式が話し合われました。

最後に祈りのうちに午後4時、解散しました。

文責　藤井　実

ちょっとあなたも　ちょっとわたしも (5)

教会は神の国か

教会共同体は、神の国ではない。教会は神の国ではない。これは異端ではないのです。むしろ教会が神の国だと思い込む事の方が危険です。もしそう思い込むなら、全世界に君臨する神聖ローマ帝国を再現する様な夢をいつまでも追う事になる。

教会共同体は神の国を告げ知らせるもの（マタイ4・17～23等）神の国実現を求めて、そのために生命をかけるものです。

主が望まれる神の国がどういうものか、マタイ全体を見ればかなりはっきりするでしょう。特に、マタイ全体の構造を見るとかなり明らかになるでしょう（フランシスコ会訳の解説を読んで下さい）

神の国と言う「国」が与えるイメージは、何か組織や制度の事ですし、どうしても他の国に負けてはならない、勝利でなくちゃ、征服しなくちゃと言う願いが心の底に起る。それではどうも困るのです。

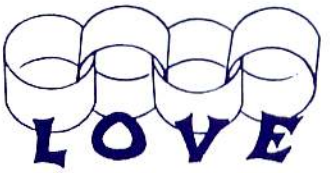
神の国は神の恵みと愛の支配の事ですし、その福音はまず貧しい人々に告げられる（ルカ4・19）と言うのですから、又「小さな人々のまわりに」（例マタイ25・）出来上ると言うのですから、やっぱり普通の国とは違います。教会が神の国を求めていると言うなら、キリストの心、キリストのまなざしを私達の心、私達のまなざし（フイリッピ2・5～）とせねばならない。

ところで私達の属している教会ですが、小教区も教区も世界の教会もまだまだ勝利主義の夢を追いキリストのまなざしになり切っていない。やっと貧しい人々の神学が貧しい発展途上国の教会で生き始めてはいますが。

勝利主義の教会と罪人の教会と言う考えはどうも相入れない。聖なる教会だから、罪人はいてはいけない。罪人は追い出さねばならない。罪人は秘跡から縁遠い人だ。ゆるしの秘跡によって、義人とされぬ限り、と裁く。

でも神からの罪はゆるされても、信徒からの評価は取り戻せない。

あの人はおこたり信者、あの人は罪人、あの人はふさわしくない信者。私達は兄弟を破門するのが得意な輩かも知れない。聖なる義人達だからと言う事で。**反省！**



開かれた教会―健常者の立場から―

開かれた教会は 開かれた心から

湯浅謙太郎

小生も京都人ですが京都の人は初対面の人との対応がとても下手と言う事ですネ。昔から排他的なところがあるのかも知れません。まして道で見かけた障害者の方にチョット手を貸したり手伝ってあげるなどとは、とんでも無い事かもしれませんネ。多人数で行動する時は厚かましくなんでもやれる人達でも、一人ではとても消極的になります。でも訓練で、又習慣でどんな事でも積極的にやれる様になると思います。例えば欧米人は子供の時からレディファーストで紳士としてのふるまいを習慣づけられていますのでごく自然に女性にドアを開けたりイスを引いたりしています。

我々も子供の時から親が障害者の方にごく自然に声をかけ手助けをする場面を見ていると、自然になんでも無い様に行動出来ると思います。欧米の公共交通機関、例えば都市バスにしてもシルバーシートなんかありませんネ。シルバーシートは日本製英語で外国では通じませんが……御老人なり白いつえを持った人が乗ってこられたら子供が一番先に席をゆずります。京都では子供が我さきにシートをあらそって坐り、降りるまでシートにふんぞりかえっています。もう十数年前になると思いますが、子羊会で新幹線に乗って旅行に出かけた折、丁度五月の連休の時期で満員でしたが、その時にこんな満員の中に車イスで乗ってきてと文句を言う乗客があって我々は小さくなっていましたが……今はさすがそんな非常識な事を言う人はありませんが……やはり段々人の気持ち、心が開かれてきたと思います。先号にも小村さんが神父様の移動とか、又神父様の個性で、遇然の結果で物事が大きく左右されると書いておられました。たしかにそんな事で左右される事では、開かれた教会とは言えないでしょうネ。我々健常者、あえて健常者と言わせて頂きますが、まだまだ健常者が障害者を助ける立場だと思っている健常者が多いですネ。共同体の一員としての意識がこんなにおくれていたかを反省したいと思います。小生はボランティアと言う言葉を使いたくありません。全く平等な立場での交流であると思っております。健常者は障害者に手助けが出来ます。障害者は健常者に精神的援助が出来ます。教会の共同体の一員としては特に健常者は障害者から大変な精神的代償を受けると思います。開かれた教会は行動の教会と思います。一人一人がなんらかの形で行動出来ます。障害者の方でも自分でなにかしたいと思っておられます。健常者と一緒に行動する時代だと思います。

〝主の平和〟の言葉を常に心に思って「今日（こんにち）は」と声をかけられる京都人でありたいと思います。

（高野教会）

1986年ウォーカソン募金は
無事、各地へ届きました

- インド　タミルナド一州……240万円
  貧しい人々の家の建設のため
- インド　ケララ州……360万円
  病院に必要な備品のために
- インドネシア　メダン州……100万円
  小学校の子供たち、そして建物の修理のため、それぞれ活用されます。

アジアの兄弟のため〈ネパール／バングラディシュ〉

今年も歩こうウォーカソン

9月23日（奈良）　11月3日㈫（京都）

お問い合せ／教理センターアネックスまで
☎(075)761－9095

お知らせ

教区スケジュール

7月

6日　司祭評議会
7～15日　平和旬間
20日　京都南部司祭集会
24日　SVP京都中央理事会
26日　綾部30周年堅信式
26～28日　高校生のためのトレルノ（奈良）
28～31日　中学生のためのエンカウンター（唐崎）

▼講演とコンサート
―福音宣教全国会議を祈り、うたう―

日時　7月7日(火)AM9時30分～
テーマ　**開かれた教会をめざして**
「家庭の福音化」
講師　ヨゼフ・ルーニィ師（大和郡山教会）
宮西いづみ氏（津教会）
場所　大和八木教会
主催　奈良県宗教音楽研究会
サンヴェレジーナ
後援　奈良県信徒協議会
問合せ先　八木教会　仲川久代
☎07442(3)0330

▼アリランのうた「もうひとつのヒロシマ」京都上映会に参加しよう

上映日程

第1回上映
日時　7月25日(土)ヨル
時間　18時30分～19時30分上映
特別講演（朴寿南）19時30分～20時15分
20時15分～21時15分上映
場所　京都会館別館ホール（第1ホール東側）

第2回上映
日時　8月1日(土)ヒル
時間　13時30分～14時30分上映
14時45分～15時45分上映
場所　ルネッサンスホール
入場料　一般1000円　中高生800円
小学生　無料
主催　「もうひとつのヒロシマ」実行委員会
（京都カトリック教理センターほか）
★上映協力券（入場券）は教理センターにあります。

▼「祈りの集い」ご案内

日時　7月11日(土)AM10時～3時
会場　聖ドミニコ女子修道院
上京区河原町今出川下ル東入
指導　田中信明師（ドミニコ会士）
会費　1、500円（昼食代含む）
持参品　典礼聖歌集、カトリック聖歌集、ロザリオ
申し込み　7月7日まで
お問い合わせ先　聖ドミニコ信徒会　田中まで☎075(211)6505

▼リトリート
現代に生きる私たちの霊性
―聖書的アプローチ―

日時
★8月24日(月)～26日(水)10時～16時
指導　Svヘレン・グラハム
★8月27日(木)～29日(土)10時～16時
指導　サムエル・ライアン師
場所　京都カトリック会館
対象　すべての方々のため
参加費　3日間5000円
1日2000円（当日受付で払ってください）
主催　京都アジア修道女会議事務局
〆切日8月10日(月)（各教会・修道会に送付した申し込み用紙で申し込んでください）
問い合せ▼京都アジア修道女会議事務局　〒604 京都市中京区河原町通り三条上ル　カトリック会館内　☎075(244)3867(月・水・金)
▼または京都カトリック教理センター　☎075(761)9095(火・木・土)

カトリック京都教区 指紋と人権を考える会定例会

日時　第1土曜日PM7時～
第3日曜日AM11時～
場所　小山教会
外国人登録法や在日韓国・朝鮮人の問題についてあなたの小教区やグループで**出張学習会**をいたします。考える会075(491)1877小山教会気付考える会までお問い合せください。

あなたの聖書にはもう付けていますか
聖書インデックス

1枚　200円

プレゼントにカードを！

花

1枚　50円
（ハガキ　15種類
カード　10種類）

和紙

1枚　100円
（3色
8種類）

子ども

1枚　70円
（8種類）

☆色，柄，いろいろあります。
☆問い合せ・販売先　京都カトリック教理センター　☎075―752―0057

少し大きくなった鳳仙花がねずみに食べられてしまいました。どうしてこんな弱い者をいじめるのと思いました。私も弱い者いじめしているかもしれないのに…。(い)